

令和5年  
6月

北文化小劇場 催し物ご案内

2023年  
6月

開催日	催事名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
2日 (金)	公益社団法人名古屋北法人会 第48回通常総会・記念講演会	13:30 15:00	14:45 16:30	公益社団法人 名古屋北法人会 052-915-3886 (FAX 915-3850)	無料 (総会は関係者のみ)
17日 (土)	あいち平和映画祭2023 ①「千羽づる」上映 ②神山征二郎監督 講演 ③「劇場版 荒野に希望の灯をと もす」上映  チケット 取扱い	①10:30 ②13:00 ③14:15	①12:06 ②未定 ③15:45	あいち平和映画祭 052-751-1521	【1日通し券】 一般 2,000円 学生・障がい者 1,800円 (当日は上記ともに+200円)  【1作品券】 一般 1,200円 学生・障がい者 1,000円 (当日は上記ともに+300円) 高校生以下 500円 (当日とも)
18日 (日)	楽しく歌おう会 25周年記念演奏会	13:30	16:00	荻野 052-911-6583	無料
23日 (金)	大本営八俵の名古屋非常呼集 3	19:00	21:00	苦肉祭	全自由席 3,000円(当日とも)

チケット  
取扱い …北文化小劇場にてチケット取扱い

\* 諸事情により催し物が中止となる場合がございます。開催の有無につきましては、上記問い合わせ先までご連絡ください。ご来場の際は、感染防止対策にご協力をお願いいたします。  
\* 非公開の催し物や練習でのご利用等のため掲載のない催し物もございます。予めご了承ください。  
\* 催し物の時間、内容等が変更になる場合がございます。

北文化小劇場 施設利用のご案内



ホール



練習室

ホール見学&各種相談承ります!

- ◆客席数 297席(椅子席237・桟席60)
- ◆舞台 間口14.5m 高さ6.0m 奥行8.2m
- ◆楽屋 2室
- ◆練習室 1室(45㎡)
- ◆駐車場 37台(図書館共用)

公益社団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]

お問い合わせ  
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス  
名古屋市北区志賀町4丁目60-31  
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分

総合建設業  
株式会社 原田工務店  
052-901-3210

広告募集中!  
掲載料1枠5,000円/年  
ご希望の方は北文化小劇場まで  
TEL 052-910-3366

北文化小劇場だより

0.1.2シアター

0歳のお子様から一緒に参加できる

ベビーウェルカムコンサート～初めての音色～



出演：フライングドクター

2023.7.29(土) 10:30開演 [10:00開場]  
13:30開演 [13:00開場]

〈全自由席・時間指定〉ペア券 1,500円 / シングル券 800円  
チケット発売：5月30日(火)～

あけぼの 白木  
0120-758-216

KAWAI  
NAGOYA  
052-962-3939

清酒 金虎  
052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ  
魚鉄  
052-911-1211

## 伝統文化アドバイザー連載エッセイ 第三回

### 【端唄】第1回「端唄は江戸期の粋で乙な流行歌」



端唄 華房流華の会 家元 華房 小真先生

はじめまして。  
「端唄・三味線」を演奏、指導しております、端唄 華房流華の会 家元 華房小真でございます。  
このたび、みなさまに伝統文化・芸能をより身近に感じていただけるように、伝統文化アドバイザーが令和5年度より創設され、伝統文化アドバイザーを拝命いたしました。

江戸時代より名古屋は芸どころといわれ、その文化はまちやそこに暮らすみなさまに脈々と伝わり、息づいています。

私が演奏指導しております端唄（はうた）は短くて30秒、長くて4分弱、三味線の音に乗せて、和ごころ恋ごころ花鳥風月を唄う七五調、詠み人知らずの江戸時代の流行歌。時代を超えて令和の現代にも愛唱・演奏されています。代表的な端唄といえば皆さまもご存知の「梅は咲いたか」「お江戸日本橋」「お伊勢参り」など数々あります。お稽古ごと、歌唱・演奏は元より歌舞伎の下座音楽、落語の出囃子、時代劇、芝居の挿入歌などにも端唄は演奏されていますのでお耳馴染みもあるかと思えます。

また、名古屋には古くから伝わる都々逸の元といわれる熱田神戸節、正調名古屋甚句という素晴らしい歌があります。これらの曲も江戸時代の流行歌。私は端唄と共にこの名古屋の大切な伝統歌を身近に感じて頂けるように、郷土の歌をご当地の方は元より、県外の方、皆で愛唱し拡めようという演奏・指導活動にも力を入れております。

歌は時代を写す鏡。日本の素晴らしい和文化を歌から三味線の音色から、伝統芸能を身近に感じていただければと思っております。

微力ながら、芸能を通じて、またはこのエッセイを連載する中で伝統芸能、和文化の水先案内人として皆さまのお役にたてましたら幸いです。どうぞお気軽に和文化・伝統芸能のご質問などお声掛けくださいませ。よろしくお願いいたします。

伝統文化についてのご質問はこちらから → [kita@bunka758.or.jp](mailto:kita@bunka758.or.jp)



## 施設事業のご案内

### 7/29(土)「ベビーウェルカムコンサート～初めての音色～」【5月30日(火)よりチケット発売】

子育て奮闘中のママ&パパ、そして0歳からのお子さまも一緒に参加できるコンサート。  
ドキドキワクワクするような多彩な楽器の音色で、お子さまも楽しめる様々な音楽をお贈りします。  
お子さまとふれあい、絆をぐっと深める素敵な一日をお過ごしください。



チケット購入

日 時：令和5年7月29日(土)  
10:30開演(10:00開場) / 13:30開演(13:00開場)  
上演時間：各回とも約50分  
料 金：<時間指定・全自由席>  
ペア券(大人2名も可) 1,500円 シングル券 800円  
※0歳児よりチケットが必要になります。  
出 演：フライングドクター  
曲 目：アンパンマンのマーチ、ハンガリー舞曲5番、子犬のワルツ、  
「ディズニーソング」より 他  
※曲目は変更となる可能性があります。



フライングドクター

快適以上を、世の中へ。

# TOENEC

広告募集中！  
掲載料1枠50,000円／年  
ご希望の方は北文化小劇場まで  
TEL 052-910-3366

## 職員コラム～揚幕の隙間から～

### 第2回「エリザベート」

Un Grande Amore(ウン グランデ アモーレ)～偉大なる愛の物語。1996年に宝塚で初演を迎えたミュージカル「エリザベート」は、宝塚版の演出と東宝版の演出があり、どちらも何度も再演している大人気のウィーン発のミュージカルです。前回のコラムで配信の話をしていましたが、このエリザベートについても、2023年1月の公演を配信で観劇しました。実は再演のたびに何度か見ているのですが、キャストや演出が変わると、まったく違う印象を持つのが舞台の楽しいところですね。今回も2公演の配信があり、キャストごともしっかり楽しませていただきました。同じセリフでもまったく違う印象を受けたり、ベースの動きは一緒なのに手の動きが違うことでまったく別のダンスに見えたり、見るたびに発見があります。さらに相手キャストが変わると、それに応じるリアクションも変わるので、そういった部分でも見応えがあります。時間が許せば全組み合わせが見たいところです。



さて、私が「エリザベート」で好きなところは、とにかく曲が素敵なこと。同じメロディーが違う場面で使われ、さりげなく、あるいは意図的に感情を揺さぶられる感覚があります。メロディーが同じでもアレンジが違うことで、その共通部分と食い違う部分を感じ、親子の絆であったり、同じ人物への思いの差であったり、革命への煽動であったりと、様々なことを想像させます。歌や音楽があるからこそ感じる差異の存在に対して、ミュージカルである必要性のようなものを感じるのです。その点でも大好きなんです。

また、個人的な話になりますが、この作品はあらすじを説明するのが非常に難しいと感じています。いろんな方にオススメしたいのですが、「黄泉の帝王、つまり死が人を愛する物語です。」と言われても、分からないですね。ただ、これが話の軸なので、他に説明のしようがありません。そのため、とりあえず歌を聞いてもらうことも良いのかなと思っています。

ちなみに、ウィーンはドイツ語なので、原曲はドイツ語です。あまりに好きすぎて、ドイツ語で歌うためにドイツ語の勉強をしたりもしました。大学のドイツ語専攻の友人から、テキストももらいました。興味を持った勉強ははかどるものです。会話はできませんが、多少歌えるようにはなったので、発音の練習にはなっていたのではないかと期待しています。ただし、このコラム冒頭のセリフは、劇中に登場するイタリア人のセリフなので、イタリア語です。悪しからず。

もう一つ、この「エリザベート」において外せないのは、宝塚版と東宝版の違いです。このコラムを書くにあたり、改めて確認したところ、元のウィーン版に準じているのは東宝版で、宝塚版は少し内容を変更されているとのことでした。黄泉の帝王が恋に落ちる場面を歌った「愛と死の輪舞(ロンド)」というナンバーは、宝塚版オリジナルで制作され、東宝版に逆輸入的に採用されたりしており、双方の演出があることで、より楽しい舞台が作られていると思うとワクワクします。主要キャストは随時入れ替わっておりますが、今後も再演されていくと信じているので、いろいろな違いを楽しみながら、ぜひ観劇してみてください。

## 施設事業レポート

### 5/9(火)「みる・まなぶ・ダンス！」

子どもたちがダンスを通して体を動かし、表現することでより豊かな表現力やコミュニケーション能力の向上を養うとともに文化芸術の楽しさを体感してもらうことを目的とした「みる・まなぶ・ダンス！」。名古屋で活躍している現代舞踊家とともに、区内の市立幼稚園にお出かけし、ダンスのワークショップを開催するというアウトリーチ事業になります。

講師は昨年に引き続き、舞踊家・振付家の石原弘恵先生です。今年も先生と園児が一緒になって楽しいダンスを作りあげていきます。今回は5/9におりべ幼稚園へ訪問してきました。

みんなで創造して動いていくことがメインのワークショップ。園児たちと赤や青、緑などの色から連想するキーワードを出し合い、「言葉を体で表現したらどうなるのか？」を動きながら考えていきます。海やスイカといった言葉を皆さんならどのように体で表現しますか？きっと答えは人それぞれ。みんな違って当たり前なので、たくさんダンスが生まれます。

次回は5/16に楠西幼稚園へ訪問予定です。どんなダンスが生まれるのか、とても楽しみです！



催物等へご来場されるお客様へのお願い



除菌・消毒



検温実施



ソーシャル  
ディスタンス

